



業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	復旧箇所数	箇所	目標	—	—	—	—
			実績	1	4	2	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	復旧箇所数	箇所	目標	—	—	—	—
			実績	1	4	2	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	台風や近年多発しているゲリラ豪雨等、不測の事態に対し迅速に対応できる体制整備を整えており、平成23年9月21日台風15号被害時には、災害発生の一報を受け、現地を直ちに確認し河川の早期機能回復を実施することができた。		
		事業実施における課題等	近年のゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨の大型化、また多発化により、被害の拡大が想定されるが、天災である事から、その発生は不確定である。そのため予算、人員等の備えが定まらず、その適正な確保が困難となってきている。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	災害復旧に対応するものであるため事業廃止・休止はできない。被害に対する機能回復を迅速に行わないと、市民の日常生活に支障をきたし、また二次被害、三次被害への大きな要因へとつながることとなる。		
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持		
		判定理由	対応体制の維持については適正に継続されており、また発生被害に対し遅延なく機能回復を実施できていることから、現状維持と判断した。		
		改善案等	被害の状況に応じて、仮設的な簡易構造で復旧するなど、効率的な実施を図らなければならない。 また、東海地震等も懸念されるなか、不測の事態に対し迅速に対応できる体制を維持していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。